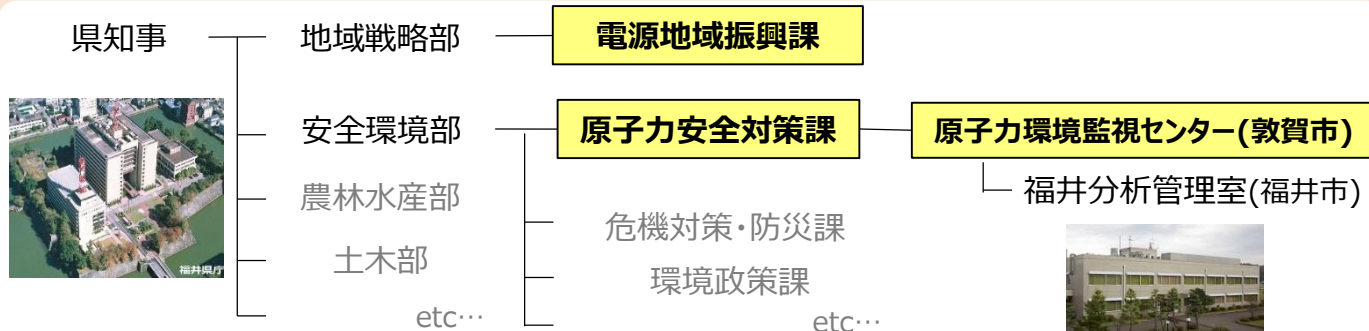




福井県の原子力職のお仕事を紹介します！

原子力職の主な仕事場



原子力職の構成

- 福井県内出身の職員がほとんどで、10名程度
(でも大丈夫！県庁全体では、約100人の同期がいます！男女比も半々！！)
- 20代～30代が半数を占める若い職場
(職場には、原子力職のほかにも、電気、土木、化学などの専門職が在籍し、one teamで活躍)

業務内容 (原子力安全対策課)

- 「県民目線」
福井県の原子力発電所の運転・廃止措置の状況や、事故・トラブルの情報を、県民に発信
- 「現場第一」
原子力発電所に赴き、運転状況、安全対策工事の状況を確認
- 「発信力」
国や電力事業者に対して、立地自治体の立場から提言や要望を実施
電力事業者、国（規制庁、エネ庁）、大学、研究機関、自治体、メディアなど多くの方と関わりながら、原子力行政について幅広く業務を進めることができます。

発電所の運転状況、環境測定結果等を自治体、関連団体などと情報共有しています



原子力発電所の現場確認①



原子力発電所の現場確認②



県原子力環境安全管理協議会

業務内容 (原子力環境監視センター)

- 福井県内の空間放射線量率等を常時測定し、HPや市町役場等で発信
- 環境試料（土壌や海水、海産食品など）の放射能を分析
- 原子力発電所の事故等の際には緊急時モニタリングを実施

事故を想定した訓練で、緊急時モニタリングの実施場所や方法を議論しています



空間放射線量率測定



環境試料の放射能分析



原子力総合防災訓練

業務内容（電源地域振興課）

- 地元企業、大学、研究機関等と協働し、原子力や再エネなど、様々なエネルギーを活用した地域経済の活性化および環境にやさしいまちづくりを推進
- 福井県とIAEA（国際原子力機関）との覚書をベースに、国際的に活躍できる原子力人材の育成



試験研究炉の整備に向けた会合



アジア原子力人材育成会議の開催



レーザー切断などの
廃止措置技術の見学会



IAEA国際研究炉スクールの招致

原子力職の若手職員からのメッセージ

M.Mさん 32歳（令和2年4月入庁）

（福井大学大学院工学研究科原子力・エネルギー安全工学専攻 卒）

業務内容（所属：原子力安全対策課）

- ・安全協定に基づく、事業者報告内容の確認
- ・定期事業者検査内容の把握
- ・原子力規制動向の確認 等



発電所の原子炉格納容器内にある空調ダクトの改造工事の状況を確認しています

ひとこと

福井県は複数の炉型・事業者が立地している全国でもめずらしい県です。

「安全性向上対策」や「高経年化」「廃炉」など幅広く知識を身に着けながら、仕事をしてみたい方におすすめします。

A.Aさん 28歳（令和2年4月入庁）

（福井大学大学院工学研究科原子力・エネルギー安全工学専攻 卒）
（同研究科総合創生工学専攻在学中）

業務内容（所属：電源地域振興課）

- ・新たな試験研究炉の整備に向けた関係機関との調整
- ・原子力関連企業の高校生インターン受入れの企画
- ・小型モジュール炉など原子力関連の技術動向の把握 等



世界各国の研究者や行政関係者が集まる、原子力人材育成に関する国際会議や研修を誘致しています

ひとこと

原子力の専門家、学校の先生、国など、様々な方と協働するため、専門知識はもちろん、それをわかりやすく伝える能力も求められます。実際の事業は課題も多いですが、課のメンバーや関係団体と議論を交わしながら進めるのはとても楽しいです。

K.Mさん 22歳（令和2年4月入庁）

（金沢大学理工学域物質化学類化学コース 卒）

業務内容（所属：原子力環境監視センター）

- ・環境放射線観測局の管理・運営
- ・緊急時モニタリング資機材の管理・運営 等

県内各地に設置した測定装置で、観測したデータを監視しています



ひとこと

常時放射線量率を測定し、公開することで、県民の皆様へ安全と安心をお届けしていると自負できる仕事です。

原子力に関すること、放射線に関することなどの見識を深めて、活かしていける仕事です。